

# 2023年11月度 中部品質工学研究会 議事録

- 開催日時 2023/11/11(土) 10:00~16:00
- 開催場所 中部品質管理協会 第一研修室
- 会員参加者<敬称略> S:オンライン出席・L:オンライン出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

大見	S	牧野	S	横尾	欠	城越	書	合田	L	伊藤	S	舟山	S	出島	S
福田	S	水田	S	山中	S	山口(展)	S	黒田	L	鈴木	S	池田	欠	山口(直)	S
北村専務	S	前田	S												
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休	三浦	休		

## 4. 研究会内容

### 1) 「輪講 中野恵司先生 最新タグチメソッド 第7章」(黒田さん)

中野恵司著 「最新タグチメソッド 第7章『静特性のチューニングデザイン』」の解説を行った。  
静特性と動特性の違いや静特性の分類・注意点などを話し、それぞれの評価特性に応じた静特性のチューニングデザインの感度の求め方を解説した。  
ゼロ目標の望目特性の感度の求め方について疑問に思っていた点を相談し、理解が深まった。  
また演習問題7-1を実施し、解を導き出す方法に間違いがないかの確認ができ、自身の理解を深めることができた。

### 2) 「MT法を用いたゴルフ成績分析」(牧野さん)

牧野が、過去に実施した事例で、品質工学を習得する為、20年前の資料を紹介した。  
資料は、名古屋シンポジウムと研究発表大会で発表した資料である。  
品質工学を理解出来ていなかった為、自分の理解出来るゴルフで、MT法による解析と、出てきた要因を制御因子としたロバスト設計について、実施した例である。  
MT法では、選択した項目の紹介と、対象としたゴルフ場を紹介した。ロバスト設計では、制御因子について、ゴルフは、カテゴリー項目ばかりであるが、質問で、どのように考えたかとの質問があった。カテゴリー項目であっても、出来るだけ直線性が出るように ( $y = \beta M$ の直線)水準の順番を調整したことを回答した。それにより加法性も期待できる。又、田口先生から、アドバイスを受けたエピソードなどの内容を紹介した。

### 3) 「MT法を用いた数値解析」(鈴木さん)

「MT法を使った数値予測」という題名で、個人的な研究課題についてMT法で予測(診断)を行った事例について研究会内で報告を行った。報告者は初めてのMT法事例であったが、会員からは今後の研究に役立つ多くのアドバイス、指導があった。

## 4) 事務局連絡

12/2, 3と宿泊研究会を行う。集合、研究会段取り、担当を確認した。  
品質工学情報誌(関西QE主導)の2回目発刊に向けた寄稿の案内をした。  
次回輪講担当は、鈴木さん、1月に実施。